

けれども中には、

「8000 ベクレル /kg ? 全部の瓦礫を検査するのは無理じゃないか？

そもそも、その基準値自体が大丈夫？いくら瓦礫に困ってるって言ったって、

こんな怪しいのは買えないよ…」という人が現れ、

買った人が、「お前は困った人を助けないのか?!この人でなし!!」と

喧嘩になる事もありました。



少女は、

「こんな事になるなんて…こんなはずじゃ…」

と思い、悲しい気持ちになりました。

それでも、少女は売るしかなかったのです。



そして、町の人達に声をかけて一生懸命に全部売りました。

そのとき、少女にマッチを渡した男が来て言いました。

「被災地の人達が、復興の為に、お金が足りないと言っているんだ。今回の売り上げは寄付してくれないか？その代わりに、この前の2倍のマッチを君に渡そう。」と。

少女は困っている人の為に、売り上げを全部寄付しました。